

AEFA

フレンド会報



日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

アジア教育友好協会 AEFA

Asian Education and Friendship Association

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49

TEL 03 (3506) 7302 / FAX 03 (3506) 7301

Email : tokyo@nippon-aeфа.org

第
5
号

AEFA 3年目の決意 【アジアの元気と温もりを届けたい】

AEFA理事長 谷川 洋

お陰さまでAEFAも創立3年目を迎えました。

この2年間で22校を建設し、日本の学校とフレンドシップ協定を締結して、国際交流が進んでいます。準備期間も含めてこの2年半で出会った素晴らしい人たちのご厚意が、しみじみと思い出されます。その方達のご厚意に報いるためにも、確固たるAEFA理念と活動基盤を確立しなければならないと、決意を新たにしております。

日本では『いじめ問題』が深刻化し、学校に明るい夢を感じにくくなっています。

2004年夏のAEFA設立準備開始以来、私は数多くの学校を訪問して先生方にお会いし、実に多くのことを学びました。同時に教育の現場に漠然たる不安或いは失望感などを覚えました。先生方にもある種の閉塞感があるようにも聞いております。

私的な話で恐縮ですが、私の息子3人も小学校時代、いじめにあっていました。恥ずかしい話ながら、長男・次男のときは、私は全く気づいていませんでした。三男のときは流石に気が付き、私自身が学校に出向いて、校長に直談判をしたこともあります。

そうした経験を踏まえ、AEFAの学校建設理念の中に、「アジアの元気と温もり」をお届けする交流事業を加えることにしました。子供たちに人の心の温もりを是非届けたいと思うのです。その交流の中で子供たちが気づくことが多くあります。貴重な経験も生まれます。「交流の受益者は日本の子供たちだ」という信念が生まれてきました。

アジアの山奥で、字の読み書きは出来ないけれど、仲良く健気に生きている子供たちがいます。食べ物も満足でない生活の中で、明るく元気に生きている子供たちの姿を、是非伝えていきたいと思います。一人ひとりと直接に心の結びつきが出来るような交流事業になるよう、心をこめて事業の推進を図りたいと考えています。

AEFAは今年度、以下のような目標を立てました。皆様のご支援を頂きながら業務を進めて参ります。

- ①ベトナム：10校建設します。
- ・中部高原地帯（海外NGOを従来は受入れなかった地帯）での建設に挑戦
- ・ダナン市にAEFA連絡員を配置、フレンドシップ交流を直接推進・拡充
- ②ラオス：5校建設します。
- ・南部サラワン地域への建設継続、北部ビエンチャン近郊（不発弾や地雷で障害を負った人の子供が集中している地域）での建設
- ・中学校・高校進学支援を目的とした、小規模の奨学金制度の立ち上げ
- ③タイ：フレンドシップ交流に注力し、AEFAフレンドシップ交流モデルを作ります。
- ④中国雲南省に建設した小学校を切り口として、雲南に住む25の少数民族文化を日本の子供たちに紹介し、隣国理解に資して参ります。
- ⑤フレンドシップ交流の対象を拡げ、引きこもり児童を対象とする自由学校などとの提携も視野に入れ、日本の青少年の育成に、より資する活動を模索します。
- ⑥AEFAフォーラムを充実させ、全国に跨るフレンドシップ校同士の交流の深化を図ります。
- ⑦新たな団体・組織からの助成金、支援金の確保も視野に入れて参ります。
- ⑧NPO法人として登録し、信頼度をより高めて参ります。
- ⑨友の会を拡充し、学校建設に係るインフラ整備プロジェクト基金・進学支援奨学金基金などの創設を図り、骨太な友の会事業を推進して参ります。

本年もAEFAは、フレンドシップ交流を通じて「アジアの元気と温もり」を日本の子供たちに届け、お互いに夢を共有していただけるよう邁進いたします。

皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

AEFA 2005年建設校 2006年建設校



★2005年学校建設校

1. タ イ ソップワーク小学校
2. タ イ サムソップ小学校
3. ラ オ ス アワイ小学校
4. ラ オ ス バチュドン小学校
5. ベトナム タンタイン小学校
6. ベトナム ヴァンフォン小学校
7. ベトナム パカン小学校
8. ベトナム イェンホップ小学校
9. 中国雲南省 日中藤誼小学校

★2006年学校建設校

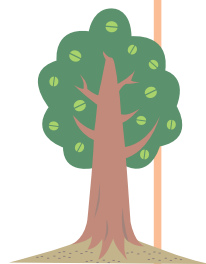
1. タ イ ボカロン小学校
2. タ イ ファイヤー小学校
3. ラ オ ス イルン小学校
4. ラ オ ス ノンドゥン小学校
5. ラ オ ス ドンルアン小学校
6. ベトナム タインタン小学校
7. ベトナム スアングアン小学校
8. ベトナム アン・ルオン・ドン小学校分校
9. ベトナム ホンティエン小学校
10. ベトナム タムホア第2小学校
11. ベトナム フーカンB小学校カウチャー分校
12. ベトナム トゥオン・ロックB小学校
13. 中国 雲南省共卓小学校
14. 中国 雲南省阿央谷小学校

フレンドシップ校

1. 神奈川県 横浜雙葉高校 / 岡山県 津山市立鶴山小学校
2. 東京都 町田市立小山田小学校
3. 愛媛県 愛媛大学農学部附属農業高校
4. 静岡県 磐田市立豊田中学校 / 東京都 葛飾区南新宿児童館
5. 福井県 坂井市立平章小学校
6. 岩手県 紫波町立上平沢小学校
7. 岡山県 倉敷市立倉敷西小学校
8. 福井県 坂井市立平章小学校
9. 沖縄県 久米島町立仲里小学校

フレンドシップ校

1. 静岡県 静岡英和女学院高校
2. 静岡県 静岡英和女学院高校
3. 岡山県 津山市立鶴山小学校
4. 岡山県 倉敷市立玉島南小学校
5. 福井県 坂井市立長畝小学校
6. 神奈川県 藤野町立南小学校
7. 長野県 長野市立信山小学校
8. 奈良県 奈良市立済美小学校
9. 岡山県 津山市立鶴山小学校
10. 東京都 品川区立立会小学校
11. 岩手県 紫波町立星山小学校
12. 福井県 勝山市立村岡小学校
13. 福井県 勝山市立成西小学校
14. 岡山県 倉敷市立玉島東中学校



「第1回AEFAフォーラム」開催

～フレンドシップ交流を通じて新しい国際交流を考える～のテーマのもと、AEFAの仲間たちが一同に会し、交流について議論を深めました。

2006年10月28日（土）東京・日本財団ビルに、全国からフレンドシップ校の先生、地域や実業界で活躍しAEFAを支援してくださっている方、ボランティアのみなさん、総勢42名にお集まりいただきました。

AEFA 谷川理事長、日本財団国際部佐藤英夫部長の挨拶から始まった第1部は、長野国際親善クラブ小出会長の基調講演、学校現場における国際交流の事例発表、全海研滝副会長の「教育の現場から」など、盛り沢山のプログラムでした。

事例発表は、各校の個性を生かした交流への取り組みに直接触れる機会となりました。中でも、実際に現地を訪問・経験してきた方の言葉は出席者の共感を集めました。「偏見や思い込みを捨て、自分の考えが絶対ではないと気づくこと。気づきの場こそ、大切です。」（静岡英和女学院高校卒業生/中野瞳子さん）

第2部では、出席者ひとりひとりの紹介とともに、AEFA交流に寄せる思いをいただきました。国際交流と一口にいても、様々な考え方があることに気づくきっかけとなりました。「いい刺激を受けることが出来ました」（南小/滝澤校長先生）

会場には、AEFAスタッフが各校のフレンドシップ交流の様子を、現地からの写真や子供たちの作品で紹介したものを作成、掲示しました。また、全フレンドシップ校の先生や支援者がAEFA交流への思いや意見を自由に綴った寄稿文を冊子にまとめ、出席者全員に配布しました。



事例発表の様子



出席者全員で
記念撮影

このフォーラムをきっかけにして、AEFA交流が単に「アジアの学校と日本の学校」という点と点のつながりだけでなく、日本の学校同士、地域同士等々、様々な形で『面と面』に広がることを期待しています。

フォーラムで頂いた貴重なご意見・アドバイスは、AEFAの今後の活動に取り入れて、より充実させていきます。

今後、フォーラムは、出席者が国際交流について意見交換できる時間をより多く設け、交流の意味を考える場にしたいと思います。また、友の会会員のみなさんも参加できるプログラムにする予定です。

（寄稿文・発言要旨をまとめた報告書を作成しました。実費にておわけしておりますので、ご希望の方は、AEFA事務局までご連絡ください。03-3506-7302）

ニイハオ！ 雲南レポート ～中国雲南省シャングリラの着工式～

経済発展から取り残された雲南省の山岳少数民族のために教育支援活動が続ける、NPO法人 日本・雲南聯誼協会 七田怜さんから、日中共卓小着工式の報告が届きました。

2006年10月11日、シャングリラは朝からどしゃぶりの雨。気温も下がり、息が白くなる寒さの中、共卓小学校の着工式が開催され、日本・雲南聯誼協会初鹿野理事長およびスタッフ、会員が参列しました。遠方のお客様を迎えようと寒空の下2時間も前から子供や村人たちが待っていてくれました。

共卓小学校は雲南省迪慶チベット族自治州シャングリラ県小中甸にある小学校で、協会スタッフの調査、AEFAによる資金援助を受け、建設が決定しました。

今回着工式が行われたのは、小学校の移転予定地である草原の真ん中。一行が到着すると、何も無い草地には華やかなチベット族の衣裳をまとった子供と村人たちが、笑顔で出迎えてくれました。

着工式では、福井県成器西小学校とのフレンドシップ協定も結ばれ、その調印式も行われました。

福井の子供たちが作成した粘土の作品や手紙、習字などがひとつひとつ手渡され、それらを紹介するたびに村人からは笑いや歓声がおこりました。

式を終えて、車に乗りこむ参列者一行を、子供たちや村人がいつまでも見送ってくれ、温かい思いでいっぱい着工式でした。



盛装で迎えてくれました



敬礼！初鹿野理事長から
作品を受け取ります

Vol.1 ラオス・VFI – Village Focus International –

ラオスのパートナー NGO は VFI – Village Focus International – で、5 年前、International NGO としてラオスで初めてできた NGO です。

ラオスは、水、電気、交通のインフラが十分に整っておらず、国内経済基盤がまだまだ脆弱です。その中でも山岳地域に住む少数民族の人々は、貧困層としての生活を強いられています。また、ベトナム戦争の負の遺産、不発弾や地雷の残存処理など様々な問題も抱えています。

このような状況の中で、VFI は政府の開発計画だけでは処理しきれない、底辺の部分を補う活動をしています。貧困の村で、人々の生活の質を向上させようと、活動拠点のセンターを作り、保健医療や農業、自然資源の管理、寺子屋学習など、生活全般にわたる指導を行っています。

VFI と AEFA との提携による活動は、学校建設です。学校は、単に決められたカリキュラムだけを教えるのではなく、農業統合プロジェクトとして、生きていくために必要な農業の知識も教えています。



ラオスで活躍する
VFI のスタッフ



VFI の活動 移動図書館



VFI の作成した
村の資源活用 MAP



VFI・プロジェクトマネージャー **NONG さん**

「2005 年ノーベル平和賞に 1000 人の女性を」プロジェクトにノミネート！

Boulaphet Chounthavong (NONG さん) は VFI の創設者の 1 人です。VFI のサラワン県におけるプロジェクトは、彼女が核となって活動を続けています。

NONG さんは医科大学を卒業後、医学の知識を病院でなく、村人の病気の予防のために活かすため、村の生活に入りこんで開発の仕事に取り組んでいます。村人の生

活習慣や精霊信仰などを尊重しながらプロジェクトを推進し、村人からも厚い信頼を寄せられています。

彼女のもとで多くのスタッフが育っています。また彼女自身、8 人の養子と一緒に生活し、面倒をみえています。

こうした功績が認められ、2005 年には「ノーベル平和賞に 1000 人の女性を」プロジェクトで、平和を創る女性としてノミネートされました。

ラオスの学校に行けない子どもたち

ラオス南部サラワン県の山岳部にあるタオイ地域では、学齢に達した子どものうち、2 割以下しか就学していません。

この年齢の子どもたちは、朝起きると一番に川に行き水汲み、家まで運び、火をおこし、料理をしています。洗濯、兄弟の世話、食料集めもし、一日中家のお手伝いをしています。

一番近い学校でも、村から 25 マイル離れています。自転車を持っている家はわずかしがなく、子供たちは何時間もかけて歩いて学校に行かなくてはなりません。

学校がない村では、ココナツの木の下などに集まり、グループで勉強をしています。先生は小学校 2 年生までを終了した大人で、ラオ語と算数を教えています。ここでは、つぶした油缶が黒板がわりで

す。筆記用具を持たない生徒たちは棒で土に字を書いています。

この地域では、14,5 歳で結婚し、家庭を持つことが普通とされています。女子の就学年数が 1 年増えるごとに、5 歳以下の子供の死亡率が大幅に下がるとも言われています。教育によって保健衛生などの知識を身につけることができるからです。

学校教育は、将来、村の貧困を改善していくために重要な役割を担っています。



2006 AEFA Photo カレンダー

アジア現地での学校建設の交渉にはじまり、日本各地の学校にアジアの情報を届けるなどして、あっという間の1年でした。活動2年目でフォーラムも立ち上げることができました。

1月

AEFA 2年目
スタート！



AEFA 紹介ビデオ完成

2月



NGO トップミーティング
タイ・チェンマイに各国NGOの代表が集まり、AEFA学校建設コンセプトについて意見を交換しました。

3月



建設候補地視察



日本国内での
交流促進活動

岩手県紫波町訪問、全海研(全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会)全国大会での発表など

4月



着工式



日本との
国際交流も
進んでいます

5月



村人の協力による学校建設が進みます。6月には建築家の佐川先生も訪越し、建築の提案をされました。

6月



12月



南小学校に
スタッフが訪問



現地の様子や
メッセージを届けた。

11月

多彩な交流活動



ジブシーキン
ミニコンサート



歯磨き教室

10月

AEFA フォーラム開催



学校の先生、実業界・地域で活躍されている人など日本でのネットワークが作られました。

9月



北山先生・青木先生
(信田小)



森永さん
(アイセック：
一橋大学委員会)



遠田先生
(南小)

フレンドシップ校の先生、AEFA関係者も
現地学校を訪問しています。

8月



新校舎が次々と
完成しています

7月



ビエンチャンツアー

ラオスの山奥の子供たちを首都ビエンチャンに招待しました。



交流促進 現地スタッフも日本の学校の紹介をしています。

トレイダーズ証券株式会社様 寄贈

ベトナム・フーカンB小学校 開校式

10月31日、トレイダーズ証券株式会社様の寄贈校、ベトナム・メコンデルタのチャビン省にあるフーカンB小学校で開校式が行われました。

前日は深夜2時まで道路の舗装をするなど、最後の最後まで学校作りに村をあげて尽力していました。当日は村人、子供たち、鼓笛隊、クメール寺院の楽隊に出迎えられ、開校式が始まりました。

トレイダーズ証券株式会社竹下部長様から、「会社として初めて、社会貢献のために利益の一部を寄付させて頂きました。私たちは会社においても“人作り”を大切にしています。世界の将来を担う子供のために、学校建設を支援することに致しました」と、挨拶が述べられ、テレビも併せて進呈されました。



竹下部長様からの挨拶

開校式の記念撮影

トレイダーズ証券株・竹下部長様からの感想

「開校式があり、完成した学校を訪問しました。日本の学校建設費と比べると僅かな金額ですが、すばらしい校舎が建ち、開校式へは村全体からの出席があり、驚きの連続でした。生徒の笑み・涙は忘れることができません。企業として、個人として、支援を続けたいと思います。」

石原拓一郎様 寄贈

ラオス・イルン小学校 開校式

11月24日、ラオスで石原拓一郎様寄贈校である、イルン小学校の開校式が行われました。

石原さんは、「わたしはこの村を初めて訪れたとき、一目で気に入って、この村での建設を決めました。いつかここで学ぶ子供達が、この村の先生になったら嬉しいです。或いは、ビジネスマンになって、日本で会うことが出来たらどんなに素晴らしいでしょうか」と挨拶し、会場は大きく沸きました。

これから農業統合学校として、学校菜園、養魚池、鶏舎などが整備されていきます。

2月には、フレンドシップ校である鶴山小学校の神田校長先生グループも、同校を訪問する予定です。



感謝状を受ける石原さん

ノートを手渡す石原さん

石原さんからの感想

「何かしてあげたいと思っていた気持ちが、こういう学校という建物になって、イルン村の子どもたちのため、そして村の将来のために役立てたのは本当に嬉しい。これからもこの村をはじめ、できることをしていきたい。」

新フレンドシップ校の紹介

福井県勝山市立 雲南省日中
成器西小 ↔ 共卓小

共卓小の着工式では、成器西小から送られた作文や習字の作品等が紹介されました。

「こんにちは。私は、日本の福井県に住んでいる黒田彩香といいます。私はまだ1回も外国へ行ったことはありません。なので、外国のことも何1つ知りません。でも、こうして手紙でも何でも話し合うと、少しでも皆さんの気持ちが分かる気がします。

いきなりですが、お尋ねをします。

みなさんは、「つらいこと」「苦しいこと」「悲しいこと」はありますか？

私はときどきですがあります。

・でもそのときは、いつも「空」を見ています。空はゆっくりゆっくりのんびりと飛んでいきます。途中には、大きな雲とくっついたり、小さくなって消えたり色々です。私たち人間も、大きなことをしたり、小さなことをしたりして「心」を広くしていくと、あとには、人から信じられてとてもいい大人になれると私は信じています。

なので、みなさんも空を見てみてください。そうすれば、きっと楽しい気持ちになれる。これは、私からの新しい提案です。なので、これからは笑顔で楽しくこの世界で暮らしていきましょう」

黒田さんのメッセージは、広い大空を抱き草原に住むチベット族の子どもたちに届いたことでしょう。

マイナス20度にまで気温が下がる、冬真っ只中の共卓村。雪解けを待って、建設工事が再開されます。

岡山県倉敷市立 雲南省日中
玉島東中 ↔ 阿央谷小

東中の渡り廊下には、日中阿央谷小のあるジャングリラの風景や、学校の様子が貼られていました。

1年生が、阿央谷の子ども達に地元・倉敷を紹介しようと積極的な取組を始めました。



交流を始めた
1年生のみなさん

ホテルの絵画コンクール開催！ホテルの交流が進んでいます

福井県勝山市立 ベトナム
村岡小 ↔ トゥオンロックB小



AEFA賞



村岡小学校賞

トゥオンロックの子供たちが、ベトナムのホテルの絵を描きました。村岡小から贈られたホテルの絵に似ているものもあれば、ベトナムらしく火炎樹のまわりを飛んでいる絵もあります。

特にユニークな作品には、谷川理事長が「村岡小学校賞」「AEFA賞」を決定。文房具などの記念品が贈られました。

東京都江東区立 ラオス
毛利小 ↔ ラオノン小

環境保全に役立つ植物、ケナフの交流が始まりました！

学校の隣の恩賜猿江公園にある学校菜園に、5年生17人がケナフを栽培しています。そのケナフをパルプにし、紙漉きをしてはがきを作りました。

フレンドシップ協定書に山岸校長先生がサイン。子ども達が作ったケナフのはがきのおたよりと一緒に、ラオノン村に届けます。



長野県長野市立 ベトナム
信田小 ↔ スアंकアン小

北山先生・青木先生が、10月にスアंकアン小を訪問。開校式も同時に開催され、青木先生は得意の太鼓を披露！大歓迎を受けました。



「子どもたちの授業に向かう真剣な学習態度にも驚きました。さしてめずらしい教材があるわけではないのにどの子も先生のチョーク1本に集中できていました。学ぼうとする意欲を強く持って授業に望んでいるんです。この子どもたちが次の世代をしっかりと担っていくんですね。力強さをつくづく感じました。

今の日本でもしかしたら失いかけている「心の豊かさ」をこの国の人々が示してくださったような気がしてなりません。」(北山知恵子先生談)

東京都葛飾区 ラオス
南新宿児童館 ↔ パチュドン小

仲村館長が主催する手作りのお祭り「じどうかんわくわくランド」は、毎年子供たちをはじめ地域の人々が楽しみにしています。児童館は地域の中心的存在です。AEFAスタッフもアオザイ姿で参加、ブースにアジアの子ども達や学校の様子を展示しました。

「恵まれた環境にいる日本の子どもに、「豊かとか貧しいとかではなく、違う世界もまた素晴らしい」ということを、伝えたい。」と語る仲村館長。ラオスの子ども達との交流を始めます。

村岡の子どもたちも、「姿、色は日本と同じホテルなのに、木に止まってきれいに光るのは少しちがいます。ベトナムのみなさんといっしょに見られたらいいですね」(河野駿平くん)「絵を見てイメージがわいてきました。クリスマスツリーのようになるのを見たいです」(加藤裕貴くん)と、親しみを感じたようです。

“心の構築をカタチで 表現していこう”

アジア教育友好協会（AEFA）の活動は途上国に学校をつくることだが、他の民間団体の同活動と大きく違うことは、つくった学校と日本の学校が交流するフレンドシップを結ぶことである。同世代の子供同士が友情を育むことの意味は大きい。我々はつい経済的な援助ということで優位性になりがちである。しかし、戦後豊かさを目標に高度成長を遂げた日本の教育環境はどうだろうか。勉強ができる環境にありながら、不登校やいじめはどの学校にも見受けられ、かつてあった地域力は衰退し、教師力も衰えている。少なくともAEFAが活動しているインドシナ半島の国々では、地域力と人間力は日本の地域社会よりも根強いといえる。我々は交流を重ねることで地域力や人間力を彼らに学ぶことができる。日本の子供達は交流することで、「心の糧」としてこれらを実感することだろうと思う。

幸せのかたちは十人十色である。日本における幸せのかたちもこれから大きく変わろうとしている。そんな時代の潮目に新しい価値を創出し、生み出そうとしているのがAEFAの狙いのひとつでもある。



佐川氏のアドバイスにより、旧校舎の美しいレンガ壁の一部が「絆の壁」として残された。子ども達の遊び場になっている。
/トゥオンロックB小にて

（株）佐川旭建築研究所代表／AEFA 顧問
佐川 旭



佐川氏は昨年6月、ベトナム／フーカンB小やトゥオンロックB小の建設現場を訪問。“学校を地域の人々の思いをつなぐ場所に”との考えから、建築アドバイスをを行った。

地域社会には地域ごとに違う気候、地形、動植物などの自然的な基盤がある。そしてそこに住み、つくりあげた伝統や文化がある。地域住民とAEFAの関係を例えるならば、地域に住む人は「土」、AEFAは「風」である。そして風は種子を運んだ後去っていくが、その種子はしっかりと土に根を下ろし、立派な根を張ってくれるだろう。

今後もAEFAはさらなるブラッシュアップを志向し、地域のもつ文化や背景を生かした学校づくりをしたいと考えている。つくる学校は単なる建物ではなく建築である。建築は心の構築である。心の構築を学校づくりを通してカタチで表現していきたい。（オロチ、イノチ、チチ……チは脈々と血が流れる）何年か後に本当のカタチとなる時、カタチは子供達の心に棲み続けることのできる風景となり残り続けてほしい。今後のAEFAの活動を注意深く見守るとともに、激励をお願いします。



地元の竹と、クメール族の文化を取り入れた「図書室兼集会所」
/フーカンB小にて

フレンドシップ交流

神奈川県津久井郡 藤野町立南小 ↔ ベトナム タインタン小

5年生の総合学習の時間にAEFAスタッフが訪問。

タインタン小からの“自己紹介カード”を届けました。タインタンのお友達から自分宛に届いたカードを見ながら、「私と同じ将来の夢を持っていてびっくり!」「字がとってもきれい」「お返事を書きたい!絵も描こうよ」と、次々に子ども達から声があがりました。

昼休みには、ベトナムで最もポピュラーな遊び「羽根けり（ダーカウ）」を紹介。バトミントンのような羽根を、蹴鞠のようにして遊びます。簡単なようではなかなかむずかしいのですが、子どもたちは集中して練習し、あっという間に上手になりました。



岩手県紫波郡紫波町立 星山小 ↔ ベトナム フーカンB小

木造校舎を新築中の星山小は「木の交流」がテーマです。建築端材を用いて「親子木工教室」が開催され、作品がフーカンB小に贈られました。



「木の文化を残すこと、それは生命の営みという原点について考えることとなりました。生命を育む森を守ること、水や木と人間の暮らしとは切り離せない大切なものであることを見直して、豊かな未来につながる活動を展開する大きなきっかけができました。」

（小池校長先生談）

AEFA活動 マスコミで取り上げられています

アジア教育友好協会（AEFA）の活動が2006年から各メディアに取り上げられています。教育欄での紹介、谷川理事長の第2の人生の生き方を通じての紹介など、様々な角度から掲載されました。

掲載されたメディアは次の通りです。

- Yahoo! ボランティア ちょいボラオヤジ特集「新しい人生を楽しもうではないか」平成18年9月から現在も掲載中
- 毎日新聞 MSN Mainichi INTERACTIVE 教育情報バケット欄「アジアの学校と交流する学校を募集」平成18年10月11日
- 大蔵週報 ある光景欄「まばゆいばかりの笑顔」平成18年11月3日
- 『団塊難民』第6章ボランティア難民「アジア支援ボランティアを選んだ谷川さんの場合」溝上憲文著 廣済堂出版 平成18年12月8日発行
- 読売新聞 16面 くらし教育欄「同世代の仲間 いい刺激に」平成18年12月21日
- The Daily YO-MIURI 16面「NPO goes beyond building schools」



活動が紹介された紙面

新フレンド会員のご紹介

新しく入会された皆さんです。有難うございました。(敬称略)
 〈個人会員〉 現在会員累積数、法人会員5社 個人会員119名

金野真紀 安彦育子 安彦徳子 森田紀樹 朝日奈大輔
 片岡典子 小林奈津子 大野光宏 喜多川 正 中尾義英
 山田 一明 常家由香 藤江通昌 皆川真孝 佐藤かおる
 河合克彦 小田川篤子 木村敬道 佐藤由美子 石井はるか
 石塚勝巳 浅野典子

〈賛助会員〉 アークス根岸店 中島隆一

■紺野真紀様の支援により、ラオスの子ども達に健全な水を確保するための井戸掘り基金として、163,000円をご寄附いただきました。有難うございました。



阪神トラベル・インターナショナル株式会社様より、「歯ブラシセット」1,000組のご寄附を頂きました。まだまだアジアには、歯磨きの習慣が無いところがあります。アジアの学校に少しずつ配



阪神トラベル(右)鈴木部長・谷課長から贈呈されました

布し、子ども達に歯を大切にすることを意識を広め、病気を防ぎ健康を守ることができたら……と願っています。



ベトナム/トゥオンロックB小を GYPSY QUEENが訪問、ミニコンサートを開催!

AEFA フレンドシップソングをはじめ、ベトナムの民謡や日本の童謡を歌い、子どもたちと交流を深めました。「キラキラした目で私達を不思議そうに見ていた子供達。でも、ベトナム語と一緒に歌を歌ったら、すぐに打ち解けることができました。私達に出会った事で、音楽や日本語を勉強したいという夢を持つ子がいたら嬉しいです。」(GYPSY QUEEN ボーカル/しのん)



友の会 Topics

- 岡山県倉敷市立長尾小より、ピアノ50台をご寄附いただきました。ピアノは、電気の無い村でも使えます。
ラオス、ベトナムの学校に順次配布しています。
- AEFAでは、東京都にNPO法人認定の申請をしています。4月には認定される予定です。
- 原田総合研究所や「算数パズル」の宮本哲也先生と、アジアの学校におけるソフト面での提案・検討が始まっています。

私たちはAEFAを支援しています!



TEL : 045-624-4168
 arcus@saoyoshi.com



海外、国内出張、団体、社員、個人旅行等
 すべての旅行をプロデュースいたします。

阪神トラベル・インターナショナル株式会社

第一種旅行業務 第1732号 03-3538-6810

URL: http://hanshin-travelintl.com



広告掲載
 募集
 しています。

アジア教育友好協会 AEFA Asian Education and Friendship Association

本部: T168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49

連絡先: T105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8F

TEL 03(3506)7302 / FAX 03(3506)7301

Email: tokyo@nippon-aeefa.org URL: http://www.nippon-aeefa.org ブログ: http://blog.canpan.info/aeefa/

日本財団
 The Nippon Foundation
 助成事業